

令和２年度 都城市立山田中学校「学校評価及び改善計画」

目標	評価項目	生徒 評価	保護者 評価	職員 評価	現状分析	次年度に向けての改善策	学校運営協議会の意見
学力の 向上	基本的学習習慣	3.1	3.0	3.4	○ 基本的な学習習慣に関しては、月1回学習態度向上週間を実施している。その成果もあり、生徒・保護者・ともしっかり指導されていると感じている。 ○ 授業の工夫に関しては、生徒・保護者の90%がおおむね良好と感じており、わかる授業の工夫がなされている。 ○ 個に応じた指導に関しては、生徒の97%ができていると回答しており、授業の形態の工夫や指導により、生徒への「わかる、できる」手立てがとられていると思われる。 ○ 家庭学習の課題に関しては、職員は課題点検を十分行っているが、見届け指導については不十分だと感じている。家庭で、メディアを活用し問題解決できる課題の工夫が必要と考えられる。 ○ 家庭での学習の仕方に関しては、生徒と保護者の間で、家庭での学習の仕方の認識に違いが見られる。生徒の学習の様子を保護者は知らない場合や、生徒自身の評価が甘い場合もあるのではないかと考えられる。	○ 学習態度向上週間で、生徒のできている面に目を向け評価していく事で、生徒の自己肯定感を高めながら、身についていない生徒への個別の支援・指導を工夫しながら継続していく。 ○ 授業改善の4+4のチェックポイントを活用して、より一層わかりやすい授業になるように努める。 ○ 継続して生徒の学力などの評価を分析し、生徒の実態を把握して指導に役立てていくように努める。 ○ 夏休みの三者面談を全学年対象に実施し、メディアを活用した家庭学習の仕方を三者で共通理解していく機会を設けるようにする。 ○ 家庭でどのように学習しているのかを、通信やデیلیーライフ等を通して保護者と連絡を取り合う事で、子どもの家庭学習への保護者の意識を高めていく。	○ 授業態度に関しては、前回（12月15日頃）の状態に比べると、立腰指導や学習態度向上週間などの組織的な取組によりかなり改善してきた。 ○ 山田中学校の図書の貸出数が、他校に比べて少ないようである。県立推薦入試などで問われる作文力を身に付けるためにも、読書の習慣を身に付けることが必要と思われる。 ○ 授業に集中できない生徒や学習の仕方がわかっていない生徒などに対して、キャリア教育の視点に立って進路を意識した指導を強化していく必要があるのではないか。（キャリアパスポートの活用を計画的に進める。）
	分かりやすいように工夫	3.5	3.2	3.2			
	それぞれにあった教え方	3.6	3.1	3.1			
	家庭学習の課題	3.6	2.8	2.9			
	家庭での学習の仕方	3.5	2.8	3.3			
豊かな 心の 育成	積極的にあいさつ	3.6	3.3	3.6	○ 部活動などの限定的な場でのあいさつが多い。朝の校門や廊下、朝の会、帰りの会、授業でのあいさつなど、時と場に応じたあいさつへの指導が不十分である。 ○ 言葉遣いに関しては、生徒の90%と保護者の91%がおおむね良好と回答した。生徒の自己評価は高いが「場に応じた謙譲語を使えない」などの現状が見られる。 ○ 清心清掃に関しては、自己評価は高いが、気づきの清掃や終わりの反省会などに取り組めていない。 ○ メディア使用上のルールやモラルに関しては、おおむね良好と回答した生徒が96%に対して保護者が78%と生徒と保護者の意識格差が大きい。また、交通事故や交通に関する校則違反、マナー違反などの情報も入ってくる。 ○ 相手の気持ちや立場を考えて行動するに関しては、おおむね良好と回答した生徒が94%、保護者が92%だった。生徒、保護者ともに評価は高いが、一部の生徒への指導は必要である。	○ あいさつ運動の活性化や学担・教科担が連携して学校全体で日々の指導を確実に行う。 ○ 時と場に応じた言葉遣いや呼称の指導など、適切な指導を継続して行う。 ○ 10分前の予鈴から手洗いとうがいをしてから無言での移動を取り入れ、本鈴前から清掃に取り組み、清心清掃に没頭できる雰囲気作りの徹底に取り組む。 ○ メディア使用上のルールやモラルに関しては、集会等でことある毎に指導を行っている。今後も継続して指導する。 ○ メディアリテラシー教育を充実させ、生活習慣や学習習慣の改善につなげるとともに、道徳活動の充実を図っていく。	○ 明るいあいさつや決まりを守れる生徒は多い。また、地域の方々に生徒自身からあいさつできる生徒が増えているが、あいさつの声の大きさについては不十分なところがある。 ○ 今年度は、メディア・コントロールに関する教育について研究を進めてきた。豊かな心の育成として、SNSの危険性やスキルについての学習を積んでおり、一定の効果は上がっているが、保護者を含めて意識の低い生徒があり、さらに強化しないといけない。 ○ 生徒のスマホやゲーム等との望ましい関わり方ができるよう、家庭への啓発をより一層進めてほしい。 ○ 自転車点検などを含め、交通安全への意識を高め、事故が起こらないようにしていただきたい。 ○ 次年度も生徒のジッタ把握と困り感に寄り添う支援をしてほしい。さらに、コミュニケーションのとり方や心の健康についての取組も期待したい。
	正しい言葉遣い	3.4	3.2	3.4			
	清心清掃	3.3	3.1	3.4			
	ルールやモラル	3.6	3.0	3.4			
	相手の気持ちや立場	3.5	3.2	3.4			
体力の 向上	正しい姿勢（立腰）	2.9	2.9	3.4	○ どの項目も昨年より評価がよくなっている。 ○ 正しい姿勢（立腰）に関しては、おおむね良好と回答した生徒が70%に対して保護者が78%と生徒と保護者で若干意識の差がある。 ○ 規則正しい生活に関しては、おおむね良好と回答した生徒が83%に対して保護者は79%と保護者の方が低く、生徒より厳しい見方をしている。 ○ 体力の向上への取組に関しては、生徒・保護者の73%以上がおおむね良好と回答した。令和2年度は新体力テストの実施がなかった。 ○ 部活動に関しては、生徒・保護者の94%がおおむね良好と回答している。	○ 正しい姿勢（立腰）を意識するために、授業の始まりと終わりに立腰指導を継続して取り組んでいく。 ○ 中学生に必要な睡眠時間や睡眠の効果等を保健だよりで生徒及び保護者に啓発していく。 ○ 体力向上については、継続して体育の授業での導入段階で、基礎トレーニングを行い、筋力アップ・敏捷性アップにつなげ、Aランクを増やしていく。 ○ 部活動については、「キャプテン会」を充実させ、始まりの時間を意識させ、体力・競技力の向上を図っていく。	○ 外部から見て生徒自身がたくましく成長している様子がうかがえる。また、外で遊ぶ生徒が増えており、よい傾向にある。 ○ 屋休みの屋外活動や体育での体力づくりの成果から「持久力」は向上してきた。また、晴天時は、車での送迎が少なく自転車での登校が多くなった。 ○ 保健面では、保健室への来訪者は昨年度に比べるとかなりり少なく良好である。メディアの使用時間との相関関係もあるのではないか。
	規則正しい生活	3.4	3.1	3.0			
	体力の向上	3.1	3.1	3.0			
	部活動に積極的	3.7	3.6	3.5			
る地 人域 材に の貢 育献 成す	地域（山田町）に関心	2.7	2.7	2.8	○ 新型コロナウイルス感染拡大症防止のため、地域の行事やボランティア等が中止となり、参加することができなかった。生徒・保護者とも60%が「地域に関心をもと、深く知る活動に取り組んでいる。」と回答している。 ○ ボランティア活動等に関しても、約60%の生徒・保護者が「取り組めている。」と回答している。 ○ ほとんどの家庭で通信等で学校の様子を知らせていると回答しているが、約15%の家庭が伝わっていないと回答している。	○ 地域学習は、3年間で系統的に学んでいけるように取り組んでいるが、工夫・改善の必要がある。 ○ 3年生は、総合的な学習の時間にボランティア活動に取り組んでおり、校外でのボランティア活動にも参加しやすいので、今後、増えていくよう募集方法を工夫し、啓発を図る。また、全校生徒がボランティア活動に参加できるように工夫・改善を図っていく。 ○ 通信に返信欄を設け、サインだけでもしてもらい、確実に情報が家庭へ届くようにしていく。 ○ 秋田県潟上市との学校間交流事業を継続していく。	○ ボランティア活動の情報を子どもたちのコメントを載せて、地域には発信すると、さらにボランティア等に参加する生徒が増えるのではないか。 ○ 地域に子ども外ない地区は、「山田いきいき通信」等で情報を得ている。 ○ 山田地区社会福祉協議会の学習支援事業として、11月下旬から3年生放課後学習会の見守り支援をしていただいている。夏休みから始めて見てはどうか。
	地域と関わる活動 ボランティア活動等	2.7	2.6	3.0			
	家庭への情報提供	3.4	3.3	3.3			
P T A 活動	広報活動		3.3	3.5	○ ホームページやメール配信は保護者にも好評を得ており、学校の様子や案内文書がより確実に伝わるようになった。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観日等の中止があったが、愛校作業、体育大会、紫峰祭、駅伝・ロードレース大会、学校保健委員会などは規模縮小しての開催となり、参加率はよかった。 ○ どの項目も94%の保護者が取り組んでいると回答している。	○ 学級通信、学年通信の発行回数の増加とホームページのメニューの工夫・改善を図り、保護者のPTA活動に対する関心を高める工夫をしていきたい。 ○ 参観日の日程、学級懇談の内容を工夫し、多くの保護者が出席する手立てをとっていく必要がある。学校行事への参加率も高めていきたい。	○ 山田地区社会福祉協議会の学習支援事業として、11月下旬から3年生放課後学習会の見守り支援をしていただいている。夏休みから始めて見てはどうか。 ○ 地域に子ども外ない地区は、「山田いきいき通信」等で情報を得ている。 ○ 山田地区社会福祉協議会の学習支援事業として、11月下旬から3年生放課後学習会の見守り支援をしていただいている。夏休みから始めて見てはどうか。
	開かれた学校づくり		3.4	3.4			
	家庭と学校の連携		3.4	3.5			